

## 2 令和2年度教育研究

### 1. 研究テーマ

「学びに向かう力」を育成する学習評価  
 - 自らの学びを振り返り，調整させる工夫 -

### 2. 研究内容

○主体的・対話的で深い学びについて

- ・学校教育目標の達成に向けて，授業や単元で育成したい資質・能力を各教科で明らかにし，主体的・対話的で深い学びを生み出すための「問い」について研究をすすめる。
- ・新大分スタンダードと関連させ，問題解決的な展開の授業を基本とする。
- ・その単元に身に付けさせる資質・能力を明らかにした単元計画を作成する。

○「学びに向かう力」の育成について

- ・指導と評価の一体化を目指し，自らの学びを振り返り，調整させる手立て・プロセスを各教科で実践・検証する。
- ・評価規準となる具体的な生徒の姿を設定し，3観点評価の実践例を蓄積する。

### 3. 研究方法

○研究発表会（公開授業）を実施

国・社・数・理・英・体・技家は毎年 音・美は隔年（※今年度は美術）

○研究計画

基本的に月に2回，校内研修を実施（1回は理論研，1回は授業研） 教科研は随時

※ 授業日の1週間前に研究部と教科部会の合同指導案審議を行う

○提示資料

授業者は指導案（県教育委員会が提示したものをもとにした本校の様式で，以下のものを明記する）を提出

- ①その授業または単元の中で育成したい資質・能力及び意図する深い学び
- ②生徒が自らの学びを振り返り，調整させる手立て等を位置付けた単元指導計画
- ③②について，期待される生徒の姿や振り返り

○教科主任会

月に1度程度，今年度より設定する。研究全般，教科部会の活性化を意図する。

○教科部会

週に1度程度，定期的で開催する。教科主任が中心となり各教科の研究をすすめる。

大学の先生との連携し，指導案審議や資質・能力，深い学び，評価の在り方について研修していく。

提案授業をする際は，教科部会で事前検討を行う。

### 4. 研究計画

期	月	研修	内容
I	4	理論研	研究テーマ提案・今後の日程，新大分スタンダード・指導案について
II	5	理論研	研究の詳細・指導案の書き方について
	6	授業研	【社会】【道徳】
	7	理論研 授業研	道徳について，研究発表会に向けて 【数学】【道徳 ※道徳教育推進教師協議会】
III	8	指導案審議	グループ研，全体研
	9	校内研 研究発表会	研究発表会準備 【国・社・数・理・英・体・技・美】
IV	10	FU研修	【国・理・美・英】
		理論研	研究発表会の振り返り
V	11	授業研	【保体】
		理論研	研究の修正，次年度の研究構想
	12	授業研	【音楽】 研究紀要の執筆
VI	1	授業研	【家庭】
		セミナー	外国語セミナー【英語】 原稿提出
	2	授業研	【数学】 完成版提出
	3	理論研	総括・次年度に向けて 研究紀要の発刊

※令和2年度はコロナウィルス感染症の影響により，大幅に研究計画が変更されています